

## 平取ダム事業用地に関する現地調査のふりかえり（案）

日時：平成20年10月4日（土）09：00～14：40

場所：平取ダム事業用地、芽生生活改善センター

出席者：平取ダム地域文化保全対策検討会委員 10名

平取町（調査班含む）9名、事務局 8名

行程：1 バスによる現地視察（09：40～11：40）

〔主な視察先〕 ・チノミシリ

・川洲畑実証試験地1

・多様な木本・草本類の保全モデル地区ー2(S-05)

・番兵小屋跡地、付替道路工事現場

・カムイワッカ

・ダムサイト、チノミシリ、ペテウコピ 等

2 芽生生活改善センターでのふりかえり・意見交換（12：20～14：10）

## 主な発言

## ○チノミシリ

- ・一箇所から全部のチノミシリが見えなければならないわけではない。
- ・それぞれのチノミシリが見える向きに意味がある。
- ・上流端のチノミシリの頂上部の所有状況を確認のうえ将来にわたって保全してほしい。
- ・チノミシリをそれぞれの場所毎に、昔のように川に近づいて見てみたい。
- ・以前にフットパスの話も出ていたし、額平川と宿主別川の合流点にも行ってみたい。
- ・チノミシリでのカムイノミでは何をしていたか、何を使っていたかは調べているのか。  
→（調査班）聞き取りや文献で調べている。ただ、それが十分再現するだけの材料がそろっているかどうかは別で、かなりわかっているところもあれば断片的にしかわからないところもある。後は、これからそこをどう扱っていくかという判断の中で、当事者性の強い方々がどう係わるかということと併せて検討していくということになるのではないかと思う。
- ・自分の家以外のチノミシリについては、わからない。このように皆が言っているのだから、できれば、それぞれの身内の人にお参りしていただけたらと思うが、どうだろうか。調査班で調べてみてほしい。でもチノミシリについてはもうわかる人はいないかもしれない。
- ・地縁・血縁のある人の気持ちに配慮しつつ、アイヌの代表的組織である平取支部でやるということがいいと思うし、今までも配慮されていたと思う。
- ・チノミシリにカムイノミをしたのは、昔は狩りに行くときに無事を祈っていたのだろうけれど、今は狩りには行かないので、その精神を伝えることが必要。
- ・川原を道として使ってきたのだから、その精神をきちんと表すにはなるべく道に近いところ、川に近いところから見る必要があるのではないか。
- ・現代でも山に入るときに、ちょっと寄ってカムイノミをするようにするべきだと思う。

- ・精神性を伝えることにより、(カムイノミをしよう) 心に思うことが増えると思う。
- ・そのためには(それを助ける) 場所が必要で、あるだけで違うと思う。
- ・(まだよく知らない人に) 関心を持ってもらうだけでもよい。
- ・そのようなきっかけになるだけでよい。

### ○川洲畑

- ・川洲畑からはどの程度収穫できたのか。
- (調査班) 一定量は収穫できたが、委員全員が食べるほどではなかった。

### ○多様な木本・草本類の保全モデル地区－2(S-05)について

- ・現在のシカからの防護柵は意味がない。
- (事務局) 調査班と相談しながら進めたい。
- ・孫生移植は土をかぶせて増やすのではないか。
- (事務局) 現況では土をかぶせずに経緯を見ていく必要があるため、土をかぶせる判断については次年度になると考えている。
- ・有用植物のモデル地区－2に植えられていたイヌエンジュは、アイヌ文化伝承に大事だと聞いたが、現状では実用的なものとしては現在の量では足りない。
- ・量的な確保は別の場所でもできるので、モデル地区なのだから、見本園として使うのがよい。例えば、「アイヌ民族植物園」とでもいうようなもの。
- ・ここは、行きやすい場所で、スズラン群生地にも近いのでよいのではないか。
- (調査班) S-05 は、モデル地区なので、種類も量もという場所ではないと思う。
- 多様な種類の場所だと思う。
- どこにどれを植えるということを今後、専門家の指導を得ながら考えていきたい。

### ○付替道路工事について

- ・道路や橋梁の工事が進んできて、かなり地形が変わってきているので、今後は、できるだけ元の地形に戻していく復元が大事。

### ○カムイワッカについて

- ・水量をチェックする必要がある。
- (事務局) 今後調べたい。
- ・できればホースではなくて、樋でも付けた方がよいのではないか。
- ・手作りでもいいから、やった方がよい。下に甕を置くなり格好を付けた方がよい。

### ○地域文化保全対策について

- ・先住民族に関する国会決議もされたので、どれだけの保全対策を行うのか注目されている。
- ・何でもいからダムを造ってもよいというわけではない。
- ・ここは、我々の先祖からの大事な場所、百年前は鬱蒼とした森林で、アイヌ語しか交わされていなかった場所である。文化を忘れてもらっては困る。
- ・オーストラリアでは道路標識にアボリジニの言語を使うなど文化を大事にしている。
- ・文化を象徴するものを示してほしい。